


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

学習の理解度を把握するための ICT 活用 「Google フォームを活用した確認テスト」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 中学部 1・2・3年（通常学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を書くことに抵抗や苦手意識があったり、時間がかかったりする生徒がいる。 ・週に1時間の授業のため、学習の定着に課題がある。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	音楽科
	単元(題材)名	単元名「曲の構成を聴き取ろう」 （交響曲第5番ハ短調より第1楽章）
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の動機の現れ方や構造との関りを理解する。 ・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・Google フォームによるテストの解答（図左） ・Google Classroom による成績の管理（図右） 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを操作して、問題文や図を確認しながら、解答を選択したり記述したりすることができる。 ○解答後に、自分の理解度や間違いを把握することができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom を通して確認テスト（Google フォーム）を行うことで、テストを一斉に実施したり、点数等をデータベース化したりすることができるようにした。 ・確認テストでは、記述式だけでなく、図を挿入したり、選択肢やプルダウンを用いた問題を作成したりして、入力することへの抵抗感を軽減するようにした。 ・解答集と誤答に対するフィードバックを作成し、解答後にすぐに確認することができるようにした。
	材料・作成方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の確認テストの作成：PC ・生徒の確認テストへの解答：タブレット端末
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・解答後に、教師が作成した解答集と誤答に対するフィードバックを確認することで、自分の得点と問題の解説を即時に確認したり、学習を振り返ったりすることができた。 	